

私たちの活動や意見を仲間で共有します。
会費は県と日本平和委員会の活動も支えます。

土浦平和の会ニュース

2022年7月15日 第365号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//tutiuraheiva.web.fc2.com/

国民平和進行2022 土浦行動(7月9日)

“核なき世界”めざし、元気に行進

出発集会 & 行進 & 街頭スタンディング & 宣伝カー市内運行と多彩に



5月8日に北海道を出発した2022年原水爆禁止国民平和進行「北海道-東京コース」は2ヶ月の行程を経て、7月9日いよいよ土浦市に入りました。今回は、亀城公園での出発前集会、続いて市街地行進と街頭スタンディング、宣伝カー市内運行の4点セット開催となりました。猛暑やらコロナ不安などで、参加は25名と例年より少なめでしたが、参加各団体・個人の平和への思いがあふれる行動日となりました。(下へ続く)



亀城公園での出発前集会風景

に背を向けていることや核抑止論にしがみついていることを厳しく批判しました。

続いて、安藤真理子土浦市長からのメッセージが紹介されました(裏面に掲載)。実行委員会の大西さんより8月の「原爆と人間展」の紹介と核廃絶への思いを朗読(裏面に掲載)。さらに、各団体からの決意の挨拶と続けました。

行進は以前の8Kmから2Kmへと大幅な短縮



行進出発前に宣伝カーと



亀城公園からCO-OP土浦店まで行進

出発前集会では実行委員会を代表して近藤土浦平和の会事務局長が挨拶。ロシアのウクライナ侵略の中で核兵器使用の脅しなど許されない事態が進行しているもとで、唯一の被爆国の日本政府が核禁条約

横断幕3本 勢ぞろい

(下写真)

最近の各種共同行動で使われてきた横断幕が勢揃い

世界にはばたけ核兵器禁止条約
日本政府はただちに署名・批准を

9条守れ、憲法生かせ
改憲は戦争への道、私たちは許さない

侵略戦争・核の脅し、許さないぞ
ロシア軍はウクライナからただちに撤退を



コースとなりました。行進後には、CO-OP土浦店前で、参加者全員の街頭スタンディングを行い、買い物客や走行車にアピールしました。

この後、宣伝カーは実行委員の古沢さんにより市内を回り、次の阿見町にバトンタッチされました。



CO-OP土浦店前で街頭スタンディング

9条守れ憲法生かせ
世界にはばたけ核兵器禁止条約
日本政府はただちに署名・批准を

2022年 参議院選挙 改憲勢力が伸張

国民は改憲を求めてはいない 逆流に負けず、平和つらぬく運動強化を

参院選の結果、自民、公明、日本維新の会、国民民主党の4党で参議院の7割強を占めることとなった。この結果、憲法9条も含めた改憲に前のめりの勢力、いのちとくらしよりも軍事費に税金を使うことをいとわない勢力が伸張することとなった。

私たちにとって、結果は厳しく残念なものである。しかし、各種調査で、国民が重視した政策は、景気・雇用などくらしの課題であり、「憲法改正」はわずかでしかない。今以上の軍事費増への批判的意見も多数である。そのことからしても、「白紙委任」を政府や改憲勢力が得たわけではない。今後、市民の政治への願いと政府の政策との矛盾がより深まることは確実である。

要求と政治をつなぐ共闘の前進、平和とくらし、民主主義を守る共同の取り組み発展をめざして今後のたたかいを強めよう。

安倍元首相が銃撃され、逝去されるという事件が起きた。いかなる理由があろうとも暴力や武力での問題解決は許されない。同時に、政治的背景を持たない蛮行を「政治テロ」と独断して、権力による表現、行動の自由への介入を強化することを許してはならない。今こそ、言論の自由を守り強くする取り組みを強めよう。改憲と戦争する国づくりをストップし、憲法をいかに政治の実現を迫る運動、「市民と野党の共闘」の前進、発展をめざす決意を新たにしよう。(土浦平和の会)

平和行進 土浦出発集会(7/9)

■安藤真理子土浦市長からのメッセージ

「このたびの2022年原水爆禁止国民平和大行進および原水爆禁止世界大会の開催に当たり関係各位のご尽力に深く敬意を表します。本大会が核兵器のない世界実現のために有意義なものとなりますよう、心よりご祈念申し上げます。」

■実行委員会大西さんの朗読

「核兵器を使う、持つ、作る・・・核を使うぞと脅かす行為は、すでに2017年、国連において国際法となり、禁止すると宣言されています。しかし、ロシアのウクライナへの侵攻はいまや侵略にほかならず、その上核の使用をほのめかす言動は許しがたいものがあります。被爆国であると世界中が知る、私たちの国「日本」。それゆえに核廃絶を強く訴え、あすの子どもたち、孫たちの安心と平和のために、その目的に向かって、今日もその歩みは続くのです。」

第29回総会 & 記念学習企画 開かれる

土浦平和の会は6月19日午後、第29回総会を開催しました。記念企画として、日本平和委員会常任理事の川田忠明さんがZOOM会議で行った講演「ウクライナ侵略問題～いま、私たちに求められているものは」の動画を視聴しました。参加は17名でした。

2022 原爆と人間展

原爆パネルと高校生が描いた原爆の絵画展

8月11日(木・祝)～14日(日)

午前10時～午後5時

県南生涯学習センター(土浦市役所5階)

ロシアによるウクライナ侵略という暴挙の中、核兵器の使用をほのめかすという、決してあってはならない言動をきっかけに、日本国内でも“核共有”など、危険な動きが表面化しています。いまこそ、核兵器がもたらす悲劇を強く世界に発信しなければなりません。

初日特別企画 ■被爆関連DVD視聴

「The A-bomb」

ヒロシマで何が起きたか

8/11(木・祝) 13:30より

同フロア「講座室」にて 入場無料

原爆と
人間展

主催：
土浦 原爆と人間展実行委員会
後援：
土浦市・土浦市教育委員会

2022年「8・15平和のつどい」

名作映画「ひまわり」上映会

(50周年HDレストア版)

日時：8月13日(土)14:00～

会場：クラフトシビックホール土浦(市民会館)

主催：「8・15平和のつどい」実行委員会

後援：土浦市 など6団体

地平線のかなたまで続く一面のひまわり畑に流れ出す哀愁のメロディ。ひまわり畑の撮影は現在のウクライナの首都キーウから南へ500kmほど離れたヘルソン州で行われた。戦争で引き裂かれた男女の悲しみを描いた名作として映画史に刻まれる名作。ロシアによるウクライナ侵攻の中で「戦争とは何か」を伝える映画として再び注目され、共感が広がっています。



【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費：月額500円、「平和新聞」(毎月5、15、25日発行)：月額593円(送料含)



土浦平和の会